

研究功労者表彰を受賞しました

2025年6月24日、農業研究開発センターの仲照史所長がこれまでの業績を称えられ、全国農業関係試験研究場所長会より研究功労者表彰を授与されました（図1）。

表彰された業績は、「キクおよびダリアの省力安定生産技術の開発」で、キクの収穫・調製作業における省力化技術やダリアの無病化に関する研究について高く評価されました。

小ギク栽培において、同じ時期に一斉に開花しやすい品種や露地での電照技術を開発し（図2）、民間企業等との収穫機の共同開発を行うことで収穫作業の省力化に寄与してきました。二輪ギクでは、わき芽の発生が少ない品種開発により、芽かき作業の軽労化に繋がりました。

また、ダリアの無病化に向けて、原因となるウイルス汚染の状況を明らかにしつつ、この対策として無病挿し芽育苗技術を確立し、貢献してきました。

これらの技術開発は、県内外のキクおよびダリアの安定生産に寄与しています。



図1 全国農業関係試験研究場所長会より授与



図2 小ギクの電照栽培

イベントを開催しました

◇農業研究開発センター公開デー（本所）

11月8日（土）

大学生・大学院生を対象に、施設見学や研究体験を通じて、当センターの研究業務を紹介しました。今回は、イチゴ、土壌およびヨモギの各テーマに分かれて体験し、食と農への関心を高めていただく機会となりました（図3）。



図3 研究員の説明を聞く参加者

◇アグリビジネス創出フェア（東京ビッグサイト）

11月26日（水）～28日（金）

農業や食品等における最新の研究成果を紹介する技術交流展示会で、当センターはスマート技術や地域資源の活用に関する研究および所有する知的財産等について、ポスターの展示を行いました（図4）。

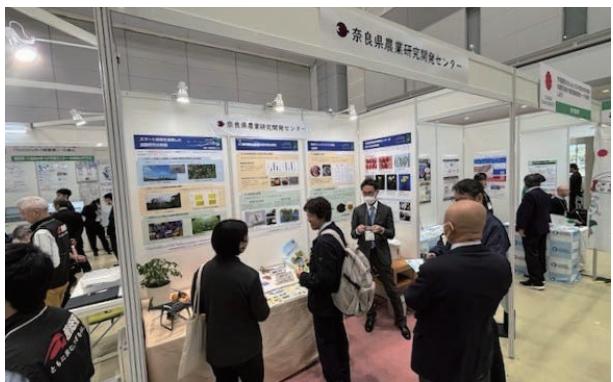


図4 出展ブース